

令和元年度「児童・生徒の学力の向上を図るための調査」における

本校の結果と分析

江戸川区立一之江第二小学校 5 年生

1 調査について

- ・調査日 令和元年 7 月 4 日（木）
- ・対象学年 第 5 学年
- ・実施人数 135 名
- ・教科 国語・社会・算数・理科

2 各教科の調査結果

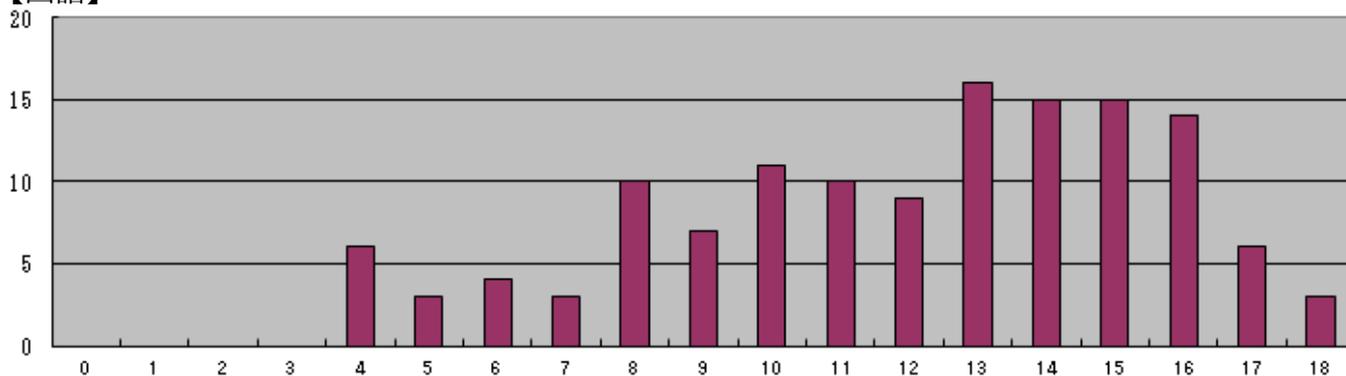
教科	A 教科の内容											
	思考・判断・表現 (国語:話す・聞く)			技能 (国語:書く)			知識・理解 (国語:言語)			読む		
	学年	江戸川	東京	学年	江戸川	東京	学年	江戸川	東京	学年	江戸川	東京
国語	66.2	62.5	65.9	72.5	68.5	70.4	62.1	61.8	65.9	68.9	64.1	67.1
社会	69.8	61.0	63.1	68.6	64.0	66.5	79.0	68.9	69.8			
算数	49.8	42.1	46.4	68.2	61.7	65.2	67.4	63.6	67.8			
理科	49.9	49.6	52.9	64.8	63.5	66.4	51.4	50.6	55.0			

*単位は正答率 (%)

*東京都の結果は抽出校、区の結果は区内全校による平均

3 各教科の分析(○成果／●課題)

【国語】



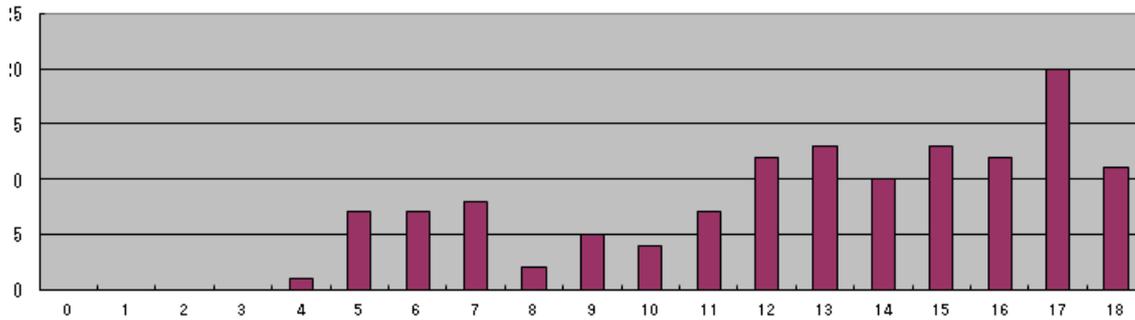
○全ての項目において、江戸川区の平均より高かった。東京都の平均と比べても、「言語」以外の項目で平均点を上回っている。

○特に、「第 4 学年までに配当されている漢字を文脈に即して正しく読むこと」や「文や文章の中で、語と語や文と文の続き方を考えて書く」に関する問題は、正答率が高かった。

●「文の中における主語と述語の関係について理解している」に関する項目の問題の正答率が 31.1%と低かった。文の中の主語と述語について着目して読むことが必要である。

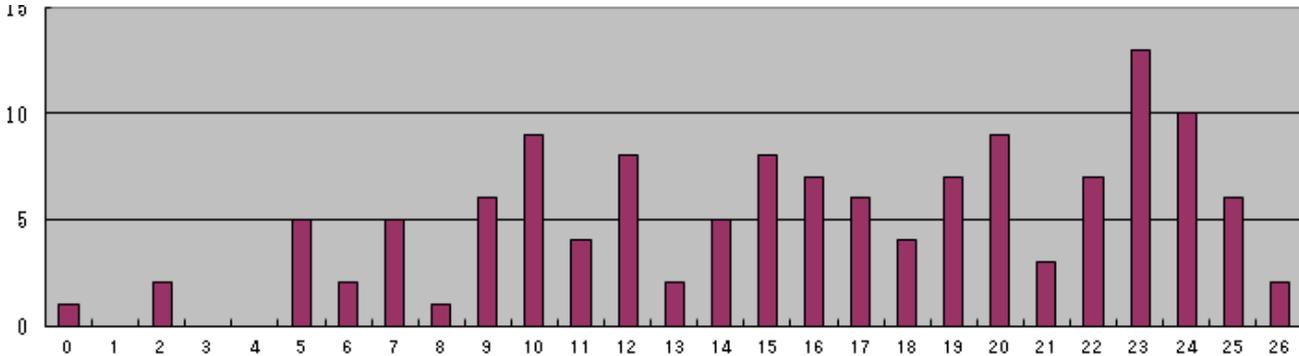
●「修飾と被修飾との関係について理解している」に関する項目の問題の正答率が 36.4%と低かった。文の中のくわしくする言葉とその言葉がどの言葉をくわしくしているかについて着目して読むことが必要である。

【社会】



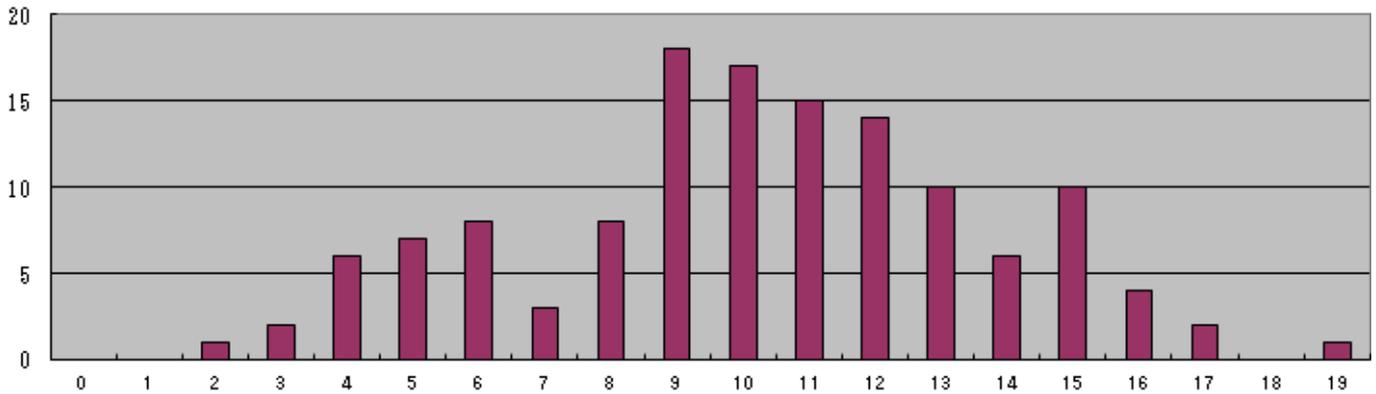
- 全ての項目において江戸川区・東京都の平均値より高かった。
- 特に「自分たちが通う学校がある区市町村の地理的位置を理解している」や「東京都の土地の標高について理解している」に関する問題は、正答率が高かった。
- 「資料から、ごみと資源の流れについて読み取る」に関する項目の問題の正答率が47.7%と低かった。また、「交通事故発生時の、通信指令センターにおける対処の様子を読み取る」に関する項目の問題の正答率が48.5%と低かった。資料から必要なことを読み取ることが必要である。

【算数】



- 全ての項目において、江戸川区の平均より高かった。東京都の平均と比べても、「知識・理解」以外の項目で平均点を上回っている。
- 特に「帯分数+帯分数（同分母）の計算」に関する項目の問題の正答率が高かった。
- 「面積の公式を利用して、問題を解決する」に関する項目の問題の正答率が34.8%と低かった。様々な図形に対して面積の公式を活用して工夫して求める活動を単元の中で十分取り入れる必要がある。
- 「180度より大きい角度の求め方を考える」に関する項目の問題の正答率が42.4%と低かった。180度をこえる角の大きさの測り方を理解することが必要である。

【理科】



○全ての項目において、江戸川区の平均より高かった。

○特に「はかりの適切な使い方を理解している」に関する項目の問題の正答率が高かった。

●全ての項目において、東京都の平均より低かった。

●「電気の性質を理解し、電気を通す物と通さない物を理解している」に関する項目の問題の正答率が18.2%と低かった。電気の性質を理解し、電気を通す物と通さない物を理解することが必要である。

●「回路のつなぎ方を変えた時の、回路を流れる電流の大きさと電流のはたらきとを関係付けて考察することができる」に関する項目の問題の正答率が19.7%と低かった。回路のつなぎ方を変えた時の、回路を流れる電流の大きさと電流のはたらきを関係付けて考察するなど、常に育てたい資質・能力を意識した授業を展開することが必要である。